

神中しーぶん

平成26年
9月30日
神原中
不定期26号

地区陸上で躍進!!

～第56回那覇地区陸上競技大会～

去る九月二十六日(金)に開催された第五十六回那覇地区中学校陸上競技大会において、三年生を中心とした頑張りによって、昨年度よりも大幅に得点がアップしました。三位入賞で表彰されるのもここ数年なかったことでした。

成績の方は、男子が十四位(昨年十九位)、女子が十九位(昨年二十三位)で、総合十七位(昨年二十二位)でした。

目標にした躍進賞を取ることができなかったものの、得点の伸びから見ると全体の四位にランクされています。

六つのリレー種目で一つも決勝に残ることができず、得点した競技が全て個人種目だったことは、来年へ向けたチームとしての取り組みを強化する必要も見えてきました。しかしながら、あと少しの頑張りがあれば予選突破も間近です。

ここで、入賞者の紹介をします。

- (共通男子)
- 四位 城間宗近③
 - 三位 新里潤一③
 - 四位 石井卓弥③
 - 五位 喜納勝海③
- (共通女子)
- 三位 末吉叶彩③
 - (二年女子) 走り高跳び 七位 大城 葵②
 - (二年女子) 砲丸投げ 三位 末吉叶彩③
 - (二年女子) 走り高跳び 七位 大城 葵②
 - 五位 與那城柚希①



生徒の感想①!!

去る9月17日(水)6校時、今年度の実習生5名の体験談を通して3年進路学習会を実施。生徒の関心を高めるため、生徒の紹介をします。

今日の話は、聞いて、高選びに迷うし面が情報に参考になります。(伊良木 受いもあを「資格をできるだけ」と「遅刻しない」「行事に積極的」など意識して頑張りました。(翁長 桃花)

生徒の感想②!!

他校の総合成績は次の通り。

(男子) (女子) (総合)

- 一位 鏡原中 松島中 松島中
- 二位 石嶺中 鏡原中 鏡原中
- 三位 松島中 那覇中 港川中
- 四位 港川中 港川中 石嶺中
- 五位 金城中 沖尚中 那覇中
- 六位 那覇中 小禄中 小禄中

大会終了後は、泣いて悔しがっていた二年生もいたという事から、来年は更なる躍進が期待できるものと考えます。

勉強面では、毎日コツコツと、授業を中心に「楽しく」やることが大切だと学んだ。自分はどうかと考えた時に、「毎日コツコツ」というのができていないかもしれない。少しでもいいから進路では、2つの学校どっちに行きたいか、より「行きたい」に行く」と聞いて、難しくても「行きたい方に行こう」と頑張ろうと思った。いろいろな実習生の先生から話を聞いて、勉強についても、自分の進路についても、自信を持って楽しくやっていた。(高嶺 玲奈)

僕も勉強を頑張りたいけど、先生のように勉強しながらの勉強は、少ない競争しながらの勉強は、絶対負けたくないから勉強は頑張りました。(諸見里 安晃)

地区駅伝へ向けて!

去る二十九日(月)放課後に、那覇地区駅伝競走大会(十一月二日開催)へ向けた「生徒説明会」がコンピュータ教室にて行われました。やる気を持って集まってくれた生徒が、男子十五名、女子九名で参加した。今回は久米島での開催になることもあり、各チームとも例年以上に気合の入った練習になることが予想されます。神原中も乗り遅れないように「パワーアップ」を図って、一日からの練習に取り組んでいきます。



PC教室↓

教育実習終了!

去る二十六日(金)で、今年度の教育実習が終了しました。英語で二名、体育で一名の先生方が、多くの生徒の皆さんと関わり、教員になりたいと思う気持ちに高まったとのこと。

実習期間中に、運動会や地区陸上競技大会も含まれていたので、実習生の働きには先生方も大いに助かりました。

写真は体育研究授業↓



杏里先生へ感謝!

この半年間、二年・三年の数学の授業、生徒会担当として生徒達と関わってきました。特に、数々の行事運営には欠かせない存在でした。初めての経験ではありましたが、よくやってくれました。本当にありがとうございました。十月一日からは、浦添の神森中学校での勤務となります。なお、センターでの研修を終えて、一日より福里祥代先生が復帰します。

校長講話

2014. 9. 30(火)
全校朝会の講話(後半)

9月26日(金)、地区陸上を応援している最中の10時14分に校長先生の携帯が鳴り、次のようなメールが届きました。

昨夜7:00頃、大浜病院前の神原十字路で信号待ちをしているときのこと。

黒っぽい体育着を来た少年がよぼよぼ歩きのおじいさんの手を引いて抱きかかえるように歩いている。ああ、孫とおじいさんかなあ・・・と思いながら見ていたら、渡り終えたらお辞儀をして別方向へ歩いて行く。この素敵な中学生に、私も運転している友人も胸が熱くなりました。神原中かどうかはわかりませんが神原中の生徒の可能性大だった。

バスケ部かサッカー部かなあ・・・。上下黒っぽい体育着だったよ。孫とおじいさんの関係でも微笑ましい姿だったけど、他人なのにあんなこと出来る少年で何と素敵でしょう。あんな光景を見ると私たちまで幸せな気分になりました。おじいさんに「大丈夫ですか」みたいな言葉かけをする様子やきちんとお辞儀をして別れる姿・・・。本当に素敵だったよ。

このメールをもらって私もとても心が温くなりました。

おそらくそのとき、その様子を見ていた人たちみんながこのメールをくれた私の友人と同じ温かな思いになったことでしょう。その場にいあわせた人々を幸せな思いにしてくれたその生徒の行為は本当にかっこいい！優しいことばをかけ、きちんとお辞儀をした、その礼儀正しさもかっこいい！

このような詩があります 「行為の意味」という詩です。

・・・あなたの〈こころ〉はどんな形ですか
と、ひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも〈こころ〉は見えない
けれど ほんとうに見えないのであろうか

確かに〈こころ〉は誰にも見えない
けれど〈こころづかい〉は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の〈思い〉は見えない
けれど〈思いやり〉はだれにでも見える
それも人に対する積極的な行為だから

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき
〈心〉も〈思い〉も初めて美しく生きる
・・・それは 人が人として生きることだ



神原中学校の生徒の持っている思いやりや優しさのこころは地区陸上の応援でも見ることが出来ましたし、おじいさんを助けた生徒の行為によってもみることができました。

私たちが優しさや思いやりを積極的な行為に移すときに本当の意味で「生きる」ということが生まれてくるのでしょうか。これからもこのような美しくかっこいい行為を積極的に行う神原中の生徒であってほしいと願います。